NIE実践報告

1．タイトル：☆力士の体重と身長は?

2．学校名

新潟県上越市立柿崎中学校

3．実践者名（代表者名）

平澤　起也

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

数学　30人

6．単元（本時の学習課題）名

資料の整理と活用

7．目標(狙い)

新聞記事から相関図を作成し、資料の傾向を読み取ることができる。

8．評価の視点

新聞記事から相関図を作成し、相関図から資料の傾向を読み取ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「資料の整理と活用」　9時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)資料を度数分布表に整理し、資料全体の傾向を調べることができる。(2時間)
(2)度数分布表をもとに、ヒストグラムや折れ線グラフを作成し、資料全体の傾向を調べたり、2つの資料の分布を比べたりすることができる。(1時間)
(3)度数分布表をもとに、各階級の相対度数を求め、2つの資料の分布を比べることができる。(1時間)
(4)代表値および平均値、中央値、最頻値の意味を知り、資料からそれらの値を求めることができる。
度数分布表をもとに、階級値を用いて平均値を求めることができる。(2時間)
(5)新聞記事からヒストグラムを作成したり、相関図を求めたりして資料の傾向をとらえることができる。(3時間)
(留意点)
・相関図から読み取れる事実とその事実から考えられることがらを整理させ、ワークシートに記入させる。
・データを処理することによって2つの物事の関係が明らかになっていく話をする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・生徒が興味をもつ新聞記事であり、課題としてよかった。
・新聞記事から部屋別、階級別に分け、傾向を追究できるなど話にふくらみがある教材だった。
・やや相関がはっきりしていないため、結論が出しにくく戸惑った生徒もいた。

12．成果と課題

・新聞記事を活用することで、身の周りにある事柄を数学的にとらえようとする意識をもたせることができた。
・グラフを積極的に読み取り、グラフからいろいろな傾向を読み取ろうとする態度や力を伸ばすことができた。
・話し合いによって自分の意見を相手に伝え、より深く考えようとする姿が多くみられた。
・学習のねらいにあった新聞記事を見つけるのがなかなか難しかった。